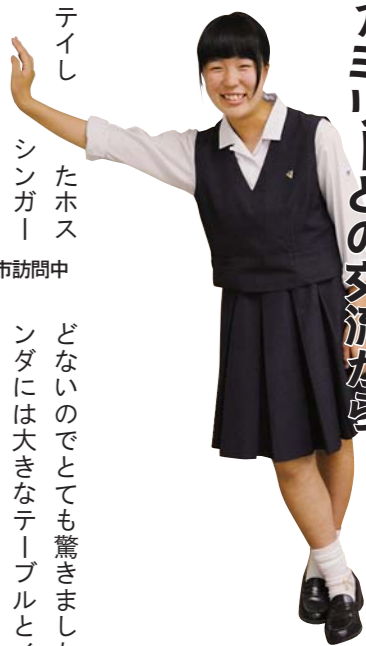


ホストファミリーとの交流から



阿部 夏実 さん＝胆沢区＝
金ヶ崎高校2年

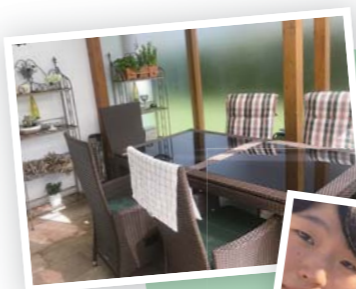
私がホームステイしたホストファミリーのシンガー家は、8月上旬の奥州市滞在時に私の家にホームステイしたホストフレンドのフィリップと父親のルーカスさん、母親のガブリエルさんの3人家族。家族全員がとても優しくフレンドリーで、いつもジョークが飛び交う和気あいあいとした家庭でした。家の造りは地上2階、地下1階の3階構造で、部屋も多く広かったです。日本では地下がある家はほとんど

※ホームステイ先の友人。本事業では、姉妹都市訪問中は派遣学生がお互いの家にホームステイする

でないのでもとても驚きました。ベランダには大きなテーブルとイスがあり、天気の良い日は外で景色を眺めながら食事することもあったそうです。また、リビングのスピーカーからはいつも音楽が流れていました。食事の時はもちろん、リビングに誰もいない時でもです。同じ音楽を共有することで、家庭の雰囲気彩られているように感じました。

毎日の朝食で出されたゆで卵の食べ方が、日本とは大きく異なっていました。殻がついたままの卵を金属製の容器に置き、卵の先端にナイフを入れて殻を割り、スプーンで中身をすくって食べます。日本とは全く違う食べ方が興味深かったです。

私が日本のお土産に持参した「かりんとう」を「これはソーセージなの？」と勘違いされたり、抹茶味のチョコレートに「こういうチョコレートは初めてだけど、とても美味しい！」と喜んでもらえたりと、国が違えば食べ物一つでもいろいろと異なるものだと感じました。

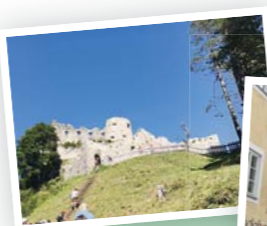


◀シンガー家の一室。どの部屋も広く驚きました

お世話になったホストファミリーと一緒に



◀山の上にそびえる
エーレンベルグ城



▲教会やレストラン、さまざまな店が並んでいました



▲谷に架かるハイライン179
思わず叫びたくなる絶景です

ロイテ・ブライテンヴァング市は、豊かな自然の中に建物が建ち並んでいます。

代表的な歴史的建造物では「エーレンベルグ城」が挙げられます。13世紀頃に築かれたと言われるこのお城は、ドイツとの国境付近の山脈にそびえ立っていて、たどり着くまでには、急な坂道と階段を登り続けます。お城から眺めるロイテ・ブライテンヴァング市はとても綺麗で感動しました。

また、お城と向かいの山脈の谷間をつなぐ「ハイライン179」というつり橋があります。長さ約405m、高さ約114mの大きさを誇るこの橋は、世界最長のつり橋としてギネス世界記録に申請中で、多くの観光客で賑わっていました。つり橋からの眺めは絶景で、たくさん山々が見えました。もう一度訪れたいと思った場所の一つです。

ロイテ市の街並みは、石畳の道路をはじめ伝統を感じさせる造りで、古くは宿場町として栄えていたという歴史を感じました。また、建物の色や形がとてもかわいいので「こんな建物が日本にもあればいいの」と思いました。

印象的な姉妹都市の建物と街並み



及川 里桜 さん＝水沢区＝
水沢第一高校1年

両姉妹都市の市長さんを表敬訪問



及川 玲奈 さん＝水沢区＝
前沢高校2年

オーストリアに来て最初に感じたことは、人々がとてもフレンドリーということ。でもまさか市長さんまでもがとてもフレンドリーだとは思いませんでした。

市長表敬訪問というと、日本の場合はちよつと緊張してしまうイメージですが、オーストリアでの市長表敬訪問は「え？ 本当にこれで終わりのなの？」というくらいあっさりとお会いした場所は市役所の玄関。日



◀ロイテ市のアロイス・オーバーラー市長

ブライテンヴァング市の
ハンスペーター・ヴァグ
ナー市長（右から2人目）



本とのギャップに少々戸惑いましたが、これがオーストリアのスタイルなのだと受け止めました。ロイテ・ブライテンヴァング市の両市長に、奥州市長からの親書とお土産の福俵をお渡ししました。とても喜んでいただきました。

両市長から「滞在を大いに楽しんで」「文化や歴史、風土を吸収していつてほしい」とメッセージをいただき、オーストリアの気に入ったところを尋ねられました。私たちは一人ずつ英語で答えたのですが、伝えることが難しかったです。語学力を試す良い経験になりましたが「自分の気持ちを英語でちゃんと伝えられるようになりたい」と強く感じた瞬間でもありました。

私は「オーストリアは大自然が素晴らしい、食べ物が美味しいし、スイーツも最高。ぜひここに住みたい」と伝えました。空はまるで水色の壁紙のように鮮明だし、川の水は飲めるくらいきれい。忘れられない貴重な体験をすることができました。



◀ホームステイ先近くの山です。高く大きく、雲が近くにあるように見えて素敵でした

◀みんなでバーベキューをしたところの川です。川の水は飲めるそうです！

滞在期間中、ホームステイしたロイテ市の緑豊かな自然を満喫することができました。現地で朝起きて最初に気が付いたのは、山々がすぐ近くにあること。奥州市も山々に囲まれ、自然豊かではありますが、ロイテ市にはまた違った景観があります。

朝早くには、山の麓に雲が浮かんでいる光景を目にすることができ、私はびっくりして思わず「あれは煙なの？」と聞いてしまい、ホストフレンドのアントニアに笑われました。

心に刻まれる豊かな自然



佐藤 李来 さん＝胆沢区＝
岩谷堂高校2年

私はロイテ市を訪れて2日目には「この人たちは、こんなに素敵な自然に囲まれて毎日を過ごしているのだな」とうらやましく思いました。山の他に、湖にも行ってきました。皆さんが想像する「美しい湖」は「海のように広く青く、深いところにある小石も透き通って見えるような湖」でしょうか。私は、この滞在中に3カ所ほど湖を訪れましたが、どこの湖も想像どおりの場所でした。湖もきれいでしたが、川もとても透き通っていて「この水は飲めるよ」と言われ驚きました。本当に自然が豊かで、日増しに「もつとここに居たい」と思えるような素敵な場所でした。

日本に帰って来て、家族に写真を見せたところ「もし家族で海外に行く機会があれば、オーストリア、そしてロイテ市に行きたい」と言ってくれました。写真だけでは伝えきれない魅力がたくさんあるので、実際に訪れればもつと気に入ってくれると思います。ぜひ現地で体験してほしいと思える素敵な経験でした。